

市民文芸

短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

入選

水口 明美

百歳を生きた先達満ち潮に射す陽のごとき標となれる

松田 英美

入選 祖母の節樽の手にそつくりと思いつつ選る今年小豆を

入選

小畑 定弘

弁当の蓋に夏蟻どつとこし父の遺林の木の根に坐せば

入選

棚野 久子

いきいきと現役時代の顔となり今日君の行くシルバー講習

佳作

黒部 君代

三世代三人家族の持ち帰る三つの話題に秋の夜更ける

佳作

喜来富士子

下り行く舟が揺らげば映りたる大步危峽の岩もゆらげり

佳作

四宮ちとせ

七十の年の差あれどわが孫と話はずみて乙女に還る

俳句

阿南市俳句連合会選

傍らに歩行器を置き賀状書く

河野 柳史

初春や孫良き人と来てくれし

田中 千香

寒月や見上げて怖き鬼瓦

佐野 極童

教室の棚すつきりと冬休み

田木 勲

病棟に響く産声年の暮

古川北斗星

新設の交番近く年新た

中川よし子

湯湯婆の癒しの寢床聞くラジオ

清原 栄子

暮し向き違ふ大小飾焚く

宮崎三千代

子の顔の大きく映る年賀状

松村みどり

まどろみて窓にぼんやり寒椿

中分 明美

川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

たつぷりと浸かってみたい浮世風呂

西田 修身

失敗を重ねハードル一つ越え

多田紀久代

大欠伸きつと幸せなんだろう

高木 旬笑

ほどほどに線引きしよう幸福度
たつぷりの鍋に幸せ煮込む母
阿南の子たちの耀く舞台祝夢創

野口 吾朗
持木 寿栄
佐藤つたえ

一般応募

諦めを意欲に変えた入選句
これからは歓喜雀躍これで行く
断捨離へこころに置むセピア色

島尾美津子
仁井 信子
武田 敏子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

島津華山の墓を拝す

松原 伸夫

遠路聘來平島郷

遠路 聘かれ来たる 平島の郷

薫陶文化百年芳

薫陶の文化 百年芳し

曾親師弟棲龍閣

曾つて親しむ師弟 棲龍閣

雅客清魂眠北邙

雅客の清魂 北邙に眠る

※棲龍閣：平島公方・義根の館 ※北邙：墓のこと

傘壽女子三名ホルマラソン完走

高橋 静雄

我朋三媼布哇行

我が朋 三媼 布哇に行き

八秩青春健脚翔

八秩の青春 健脚翔く

相勵終成完走事

相勵まし終に成す 完走の事

勇姿齋後者希望

勇姿後者に希望を齋す

※八秩：八十歳

北條民雄

吉形 和恵

猝然固疾鎖青春
能惹川端披厥神
文質彬彬世傳筆
至歎嘖嘖故山人

猝然の固疾 青春を鎖ざし
能く川端に惹かれ厥の神を披く
文質彬々 世伝の筆
至歎 嘖々 故山の人